

平成 28 年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 安芸高田市教育委員会

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光村	<p>例えば、根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶという目標を達成するために、まず、評論文を読み、相手の考えを踏まえて発言するという練習をし、次に、考えを広げ、説得力のある意見文を書くというように複合的に単元構成がされている。学習の見通しが持ち易く、振り返りもし易い、また、問題解決的な学習を展開し易い編集となっている。</p> <p>以上の点が、光村図書の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
書 写	光村	<p>まず、学習目標の確認、留意点の確認をした上で、毛筆での練習、硬筆での練習、自己評価というように、学習活動の流れや構成が分かり易い。</p> <p>また、豊富な巻末資料があり、手紙、封筒、はがき、送り状、願書などの書き方や、情報発信・読書環境などに視点をおいて書写の学習を日常生活に生かすような教材が示されている。</p> <p>以上の点が、光村図書の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
社 会 (地理的分野)	東書	<p>国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫、作業的、体験的な学習を実施するための工夫、また、多面的、科学的に考察させるための工夫などについて、具体的に示した箇所が比較的多い。</p> <p>また、学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等については、資料総数が 1 0 9 2 点と最も多く、生徒にとって分かり易い。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
社 会 (歴史的分野)	日文	<p>国際関係や文化交流に関するコラムや、作業的、体験的な学習を実施するためのコラム、発展的な学習に関するコラム、目的に応じて適切に表現する力を育てるための活動例などの掲載事例が比較的多く、充実している。</p> <p>また、学習内容との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の総掲載数が 1 0 6 7 点で最も多く、過去の出来事を学習していく上で生徒の思考を補完する上で有効である。</p> <p>以上の点が、日本文教出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
社 会 (公民的分野)	日文	<p>「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数が多い。</p> <p>また、作業的、体験的な学習を実施するための学習方法や、多面的、科学的に考察させるための課題例の掲載数が比較的多く充実している。</p> <p>さらに、学習内容との適切な関連づけがなされたイラスト、写真等の総掲載数が 5 5 3 点と多く、分かり易い。</p> <p>以上の点が、日本文教出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
地 図	帝国	<p>読図のための着眼点や考察の視点が示されており、興味関心を高め、地図から読み取る学習が行い易く、言語活動を促し易い。</p> <p>以上の点が、帝国書院の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>
数 学	学図	<p>基礎を固める問題が多く、誤答を確かめる活動や、解き方を振り返るようヒントやポイントを示した吹き出しも多い。また、ノート指導や活用・発展的問題、レポート作成の事例などの掲載数も多く充実している。</p> <p>各学年とも、レポートの作成やプレゼンテーションをする活動が仕組みされており、表現力を育てる工夫がされている。</p> <p>以上の点が、学校図書の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考え。</p>

理科	啓林館	<p>マイノートという別冊があり、ワークシートや練習問題などが掲載されている。また、青色シートを使って振り返りができるようになっている。</p> <p>オオサンショウウオ、レモン栽培、土砂災害など、広島県に関連する内容が多く掲載されているという特徴があり、興味関心を高め易い。</p> <p>また、安全に関する注意喚起が随所にマークで表示されている。</p> <p>以上の点が、啓林館の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
音楽 (一般)	教芸	<p>基本的な学習内容を、イラストを用いて各学年を通じて段階的に掲載している。音楽の約束のページに、学年の教材に対応させた楽典の内容を簡潔に示している。</p> <p>各学年とも「ここがわかればグレードアップ」という書き込みができる欄が設けてあり、主体的に学習に取り組み易い。</p> <p>以上の点が、教育芸術社の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<p>打楽器を12種類掲載しており、それらの奏法が写真と説明が示されており、練習のためのリズム譜も掲載されている。</p> <p>練習曲の楽譜の横には音域を示すなど、基礎基本の定着を図るための工夫がされている。</p> <p>学習した各楽器を組み合わせさせた楽曲や、アルトリコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載し、また、書き込みができる欄が設けられているなど、主体的に学習に取り組む工夫がされている。</p> <p>以上の点が、教育芸術社の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
美術	日文	<p>3冊構成としていることや、見開きページには和紙を使用するなど、装丁や構成を工夫している。</p> <p>題材ごとに学習目標を、4つの観点で色分け表示しており分かり易い。</p> <p>自分の考えを説明するアイデアスケッチやレポートなどを掲載し、言語活動の充実を図る工夫がされている。</p> <p>以上の点が、日本文教出版の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
保健体育	東書	<p>「やってみよう」「考えてみよう」として、実生活に関連した学習課題を提示しており、その中に言語に関する能力を向上させる学習活動が数多く提示されている。</p> <p>また、学年ごとに「保健編」と「体育編」を関連づけて編集しており、学年ごとに学習する内容が明確である。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
技術・家庭 (技術分野)	東書	<p>章末に、「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」に加えて、「学習したことを確かめよう」で練習問題があり、定着度を自己評価し易い。</p> <p>「技術の匠」というコラムがあり、実生活や他教科、キャリア教育等との関連が図られるように工夫している。</p> <p>教科書サイズが大きく、写真や図、文字のレイアウトが工夫されており、生徒が見易く、また、教師が見せたい箇所を示し易い。</p> <p>切り離し可能な「防災手帳」が最後に用意して防災に生かすことができるようにしている。</p> <p>実習のページには、目立ちやすいマークで、安全喚起がされている。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>調理や製作実習の具体例が豊富で60例あり、見開きで実習例が一覧でき、単元のはじめに意欲づけを図り易く、一目で単元の学習を把握し易い。また、教科書サイズが大きく、写真や図、文字のレイアウトが工夫されており、生徒が見易く、また、教師が見せたい箇所を示し易い。</p> <p>「リンク」「他教科」「小学校」などの多様なマークによって、他の学習内容や他教科との関連、実生活の関連などが図られる工夫がされている。</p> <p>各ページの下にはQ&amp;Aが記載されており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。</p>

		以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。
英 語	東書	<p>文法事項のまとめと練習については、練習問題を2種類用意している。</p> <p>巻末資料に、1年から3年までの基本本文一覧を項目ごとに分類整理して掲載しており、学習し易い。</p> <p>「読む」「考える」「書く」「話す・書く」の4つを総合的に活用させる言語活動が統一した形式で設定してある。</p> <p>以上の点が、東京書籍の特筆すべき事項であり、指導の在り方、本市の生徒の実態等の観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考ええる。</p>

#### 採択にあたっての付記事項

技術・家庭においては、情報モラルに関する内容についての参考意見が出された。意見の主旨を踏まえて、各学校においては技術・家庭のみならず、他教科や道徳、総合的な学習など、学校教育全般において、情報の扱いによっては自分自身が被害者・加害者になり得る危険性があることを十分配慮して指導すること。